

福井県感染症発生動向調査速報

<<平成16年>>

<週報> 第29週 (平成16年7月12日～7月18日)

発行日：平成16年7月21日

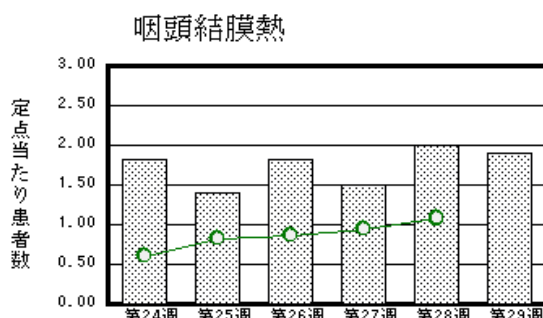
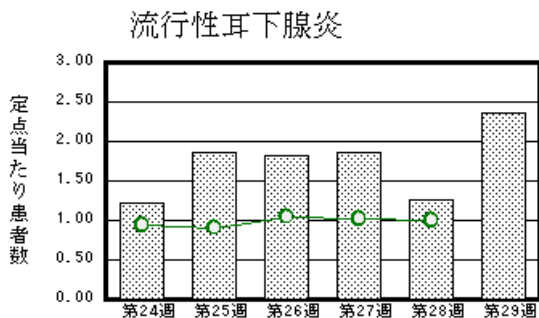
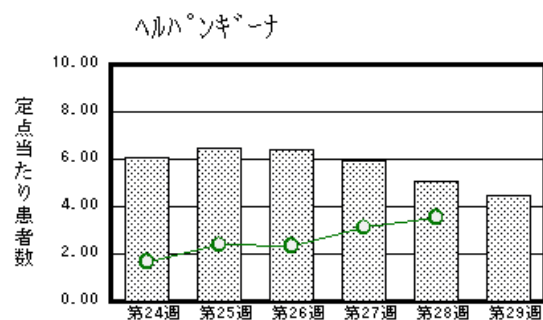
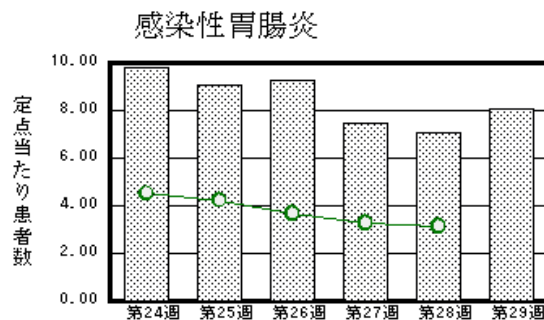
発行：福井県福祉環境部健康増進課

福井県衛生環境研究センター

kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎177名(8.05名) ヘルパンギーナ99名(4.50名) 流行性耳下腺炎52名(2.36名) 咽頭結膜熱42名(1.91名) 水痘36名(1.64名) ()内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(177名) ヘルパンギーナ(99名) 流行性耳下腺炎(52名) 咽頭結膜熱(42名) 水痘(36名) 手足口病(20名)
- 【感染性胃腸炎】報告数は177名です。定点あたり患者報告数は増加しました(7.09名 8.05名)。地域別にみると福井地区18.6名、二州地区5.7名、坂井地区4.3名の順となっています。
- 【ヘルパンギーナ】報告数は99名です。定点あたり患者報告数は減少しました(5.09名 4.50名)。地域別にみると二州地区9.3名、坂井地区5.3名、若狭地区4.0名の順となっています。
- 【流行性耳下腺炎】報告数は52名です。定点あたり患者報告数は大きく増加しました(1.27名 2.36名)。地域別にみると二州地区7.0名、福井地区4.0名、奥越地区0.5名の順となっています。
- 【咽頭結膜熱】報告数は42名です。定点あたり患者報告数は減少しました(2.00名 1.91名)。地域別にみると福井地区3.1名、丹南地区3.0名、奥越地区1.5名の順となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全県の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点

2004年第27週号(6月28日～7月4日)要点

発生動向総覧	<第27週> 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は過去10年間の全ての週と比較して最高値を更新した
注目すべき感染症	<コレラ> 下痢や嘔吐で急激に発症する腸管感染症で、本年は、6月の発症者が18例と非常に多く報告されている
病原体情報	手足口病患者から検出されているエンテロウイルス71型 2004年/ヒトから検出されているアデノウイルス3型 2004年/ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2004年
速報	手足口病患者からのエンテロウイルス71型の検出ー東京都
海外感染症情報	香港での日本脳炎発生/ラテンアメリカでの黄熱流行ー更新/スーダン南部でのエボラ出血熱ー更新/米国でのウエストナイル熱/脳炎(6月30日～7月6日) - 更新
感染症の話	<今週は該当記事はありません>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

全数届出の感染症(福井県)

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症(3類感染症)	
患者	既届出患者接触者 1名	
主な症状	軟便	
感染原因・感染経路	調査中	
平成16年	福井県	有症者14人、無症者5人(第29週:7月18日現在)
届出累計	全国	961人(第27週:7月4日現在)
平成15年同時期届出累計	有症者7人、無症者2人 全国累計700人	

このほか、5類感染症(全数把握対象疾患)の報告が1件ありました。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:5類感染症(週報分)] 平成16年 第29週 平成16年7月12日(月)~平成16年7月18日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(28週)
インフル インザ (32)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)									11 0.00
小児科 (22)	RSウイルス感 染症									15 (27週)
	咽頭結膜熱	22 3.14	2 0.67			3 1.5	15 3	42 1.91	44 2	3296 1.08
	A群溶血性レン 球菌咽頭炎	1 0.14	1 0.33	3 1		5 2.5	7 1.4	17 0.77	21 0.95	3559 1.17
	感染性胃腸炎	130 18.57	13 4.33	17 5.67		5 2.5	12 2.4	177 8.05	156 7.09	9491 3.12
	水痘	12 1.71	1 0.33	7 2.33	3 1.5	5 2.5	8 1.6	36 1.64	39 1.77	3381 1.11
	手足口病	8 1.14	3 1.00		1 0.5		8 1.6	20 0.91	22 1	3221 1.06
	伝染性紅斑			1 0.33		2 1	1 0.2	4 0.18	7 0.32	1746 0.57
	突発性発しん	6 0.86	3 1.00	1 0.33		2 1	2 0.4	14 0.64	21 0.95	2547 0.84
	百日咳								1 0.05	55 0.02
	風しん									111 0.04
	ヘルパンギー ナ	23 3.29	16 5.33	28 9.33	8 4	5 2.5	19 3.8	99 4.50	112 5.09	10795 3.55
	麻しん(成人麻し んを除く)								1 0.05	38 0.01
眼科 (3)	流行性耳下腺 炎	28 4.00		21 7		1 0.5	2 0.4	52 2.36	28 1.27	3040 1.00
	急性出血性結膜 炎									11 0.02
基幹 (6)	流行性角結膜 炎						1 1	1 0.33	1 0.33	611 0.96
	細菌性髄膜炎									3 0.01
	無菌性髄膜炎									46 0.10
	マイコプラズマ肺 炎									109 0.23
	クラミジア肺炎(オム 病は除く)									7 0.01
成人麻しん									5 0.01	

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は第27週分である。

福井県感染症発生動向調査(定点報告:5類感染症)

平成16年第29週 平成16年7月12日(月)～平成16年7月18日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(高病原性 鳥インフル エンザを除く)	小児科 定点	RSウ イルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満				3	1			1						6ヶ月未満								
12ヶ月未満		12ヶ月未満		3		15	4		1	4			8		1	12ヶ月未満								
1歳		1歳		3		27	8	5		9			25		7	1歳								
2歳		2歳		7		30	10	5					22		10	2歳								
3歳		3歳		7	2	24	2	5					16		6	3歳								
4歳		4歳		7	4	19	6	1					11		15	4歳								
5歳		5歳		2		24	3	2	1				9		7	5歳								
6歳		6歳		4	3	9	1	1					3		2	6歳								
7歳		7歳		3	4	5							2			7歳								
8歳		8歳		1		3			1				2		3	8歳								
9歳		9歳		1	1	7			1							9歳								
10～14歳		10～14歳		2	1	6		1					1		1	10～14歳								
15～19歳		15～19歳		1		1										15～19歳								
20～29歳		20歳以上		1	2	4	1									20～29歳								
30～39歳																30～39歳								
40～49歳																40～49歳								
50～59歳																50～59歳								
60～69歳																60～69歳		1						
70～79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計		合計	0	42	17	177	36	20	4	14			99		52	合計		1						
前期計		前期計	0	44	21	156	39	22	7	21	1		112	1	28	前期計		1						
当期間/前期	***	当期間/前期	***	0.95	0.81	1.13	0.92	0.91	0.57	0.67	0	***	0.88	0	1.86	当期間/前期	***	1	***	***	***	***	***	***
増減数		増減数		-2	-4	21	-3	-2	-3	-7	-1		-13	-1	24	増減数								

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

